

# そよかぜだより

2009  
2月号

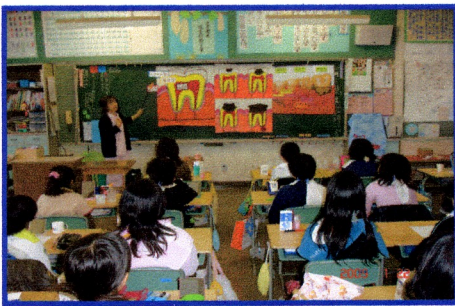
## 東深井小学校でフラッシング指導を体験！

一月二十一日(木)に、東深井小学校の四年生を対象に、フラッシング指導を行いました。

むし歯の進行の様子や歯肉炎について説明後、実際に歯垢が赤く見える様子で、歯の磨き方や歯ブラシの持ち方の練習、各自合った歯ブラシの選び方をお話したところ、みんな熱心に磨いたり、お話を聞いてくれました。

フラッシングの大切さや重要性などを説明した上で、実際に歯垢が赤く見える様子で、歯の磨き方や歯ブラシの持ち方の練習、各自合った歯ブラシの選び方をお話したところ、みんな熱心に磨いたり、お話を聞いてくれました。

今回の指導をきっかけに、子供達自身が「自分の歯は自分で守る」という意識が高まってくれれば良いと思います。そして、初めてのフラッシング指導で私達自身も勉強になった口でございます。



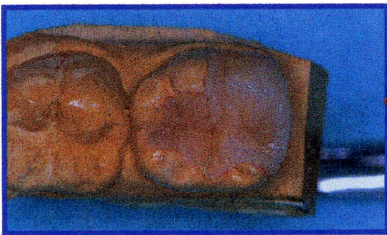
そよかぜ歯科医院のURL  
<http://soyokaze-dc.com/>

## 白い被せもの

前回も、むし歯に対して治療を行う治療法を紹介しました。

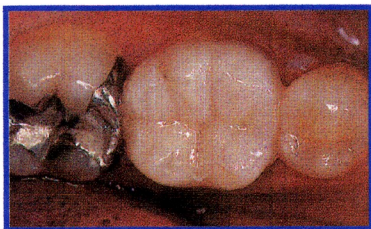
今回は前回と同様、比較的広範囲に広がったむし歯に対して、また歯の歯肉にむし歯の菌が侵入している状態です。

今回は、歯を口の中に入れて歯垢が溜まりやすい部分にセラミックを被せようとしています。



上の右の写真は、局所麻酔下におむし歯になっている部分を削除し、その歯の面の型を採り、石膏模型にした状態です。左の写真は、型取りをもとに強化合成樹脂で作られた白い被せ物です。柔らかい樹脂は保険治療で用いられますが、このような大きな範囲で歯を削除した場合には、強化合成樹脂、あるいはセラミック(ともに保険外治療)の被せものにするか、前回お伝えした保険治療内の金属で被せるのがほとんどです。

上記で作られた被せ物を歯科用の接着剤でくっつけた状態です。綺麗に修復されているのかわかると思います。保険外診療で、歯の部分的な被せ物の1本あたりの価格は、当院で¥30,000～¥63,000、歯の全てを被せる物では1本あたり¥52,500～¥105,000となります。



## 今月の豆知識 ひなまつり

来月はひなまつりですね。ひなまつりに飾られるひな人形にはまゆ毛がなく、替わりにその上に円形の点が二つ書いてあります。これは「殿上眉」、「高眉」、「引眉」といわれる化粧法だそうです。

奈良時代から平安時代にかけて行なわれた化粧法で、もともとまゆ毛を剃るか抜いたあと、元のまゆより上に墨で長円形に描いたものです。この時代は位の高い貴族の男子のみの化粧法ですが、江戸時代には既婚の女性がお歯黒とセットでこれをしていました。



## 院長より

今回は、はじめに私が学校歯科医をしている東深井小学校で、当院の歯科衛生士がフラッシング教室を行っている様子を掲載させていただきました。対象は4年生でした。とても歯に興味を持ってこの教室を受けてくれたので、歯科衛生士さんもかなり講演力が上がったようです。今後このような活動に力を入れていきたいと思っております。

二股目は部分的な白い被せ物についてお伝えしました。主に保険外診療となります。最近では、歯科材料の進化により、色、硬さなども実際の歯と変わらない被せ物を削る事ができるようになりました。しかし、健康保険の財源の範囲では、まだカバーすることができないため、保険外診療になってしまいます。次回は部分的ではございません。全体を被せる被せ物についてご紹介いたします。

最後に、「このそよかぜだより」が知りたいということがありましたら、当院のメールあるいは直接、スタッフにお申し付けください。お待ちしております。